

# 子育てするなら 下呂市

選ばれるまちを目指し  
子育てを全力で応援します！

## 子育て情報 マップ

下呂市には子育てに最適な  
自然環境があります！

- こども園・保育園・地域型保育事業所**
  - おさかこども園
  - みなみこども園
  - かなやまこども園
  - きたこども園
  - たけはらこども園
  - わかばこども園
  - わかあゆ保育園
  - みやだ子育て・保育ステーション
  - かみはら子育て・保育ステーション
  - なかはら子育て・保育ステーション
  - 萩原北医院ししのこ
- 児童館**
  - 下呂中央児童館
  - 萩原北児童館
  - 金山児童館
  - 萩原南子育て広場
- 行政機関**
  - 下呂市役所下呂庁舎
  - 馬瀬振興事務所
  - 小坂振興事務所
  - 金山振興事務所
  - 金山市民会館
  - 萩原振興事務所・星雲会館
  - 下呂振興事務所・下呂市民会館
- 小学校**
  - 萩原小学校
  - 宮田小学校
  - 尾崎小学校
  - 馬瀬小学校
  - 小坂小学校
  - 下呂小学校
  - 上原小学校
  - 中原小学校
  - 竹原小学校
  - 金山小学校
  - 下原小学校
  - 東第一小学校
  - 菅田小学校
- 中学校**
  - 下呂中学校
  - 小坂中学校
  - 萩原北中学校
  - 萩原南中学校
  - 竹原中学校
  - 金山中学校
- 高等学校・支援学校**
  - 県立益田清風高等学校
  - 県立下呂特別支援学校



## 下呂市の特色ある 子育ての主な取り組み

きめ細やかな子育て情報を案内しています

Webサイト **げろかえるねっと** [www.gero-kosodate.ne.jp](http://www.gero-kosodate.ne.jp)

子育て応援ブック [www.gero-kosodate.jp/2688.html](http://www.gero-kosodate.jp/2688.html)



### + 地域ぐるみで妊娠・出産・子育てをサポート +

下呂市では地域が丸となって、妊娠・出産・子育てを応援しています。「独自のサポート」のひとつとして、下呂市消防本部では、万一、母体等に緊急事態が発生した場合に備え、救急車の要請方法をお伝えしています。落ち着いて、次の手順で消防本部へご連絡ください。

- 救急車の要請手順**
  - 主治医の産科医師に状況をお伝えし、指示を仰いでください。
    - 救急車による緊急搬送が必要な場合は、医師から指示があります。
  - 119番通報します。
    - 通信員が救急車の出動に必要なことを順に尋ねます。全てお伺いする前でも救急車は出動しますので落ち着いて通報してください。
  - 救急であることを伝えてください。
    - 「火事ですか？」「救急ですか？」と聞かれます。
  - 救急車に来てほしい場所を伝えてください。
    - 住所は必ず地番までお伝えください。住所が分からない時(屋外など)は、近くの目撃物(大きな建物、交差点、店舗)など目印になるものを伝えてください。
  - 症状をお伝えください。
    - 誰が、どのように具合が悪いのか伝えてください。また、かかりつけ病院や医師名、持病についてもお伺いします。
  - あなたの名前と連絡先を伝えてください。
    - あなたの名前と119番通報後も連絡可能な電話番号をお伝えください。救急出動後も問い合わせをすることがあります。
- 救急車を呼んだら用意しておく便利なもの**
  - 保険証や診察券
  - 母子健康手帳
  - 普段飲んでいる薬やお薬手帳
- 救急車の適正利用のお願い**
  - 妊婦さんに緊急事態が起きたら、まずはかかりつけ病院の主治医に電話して主治医の指示を受けましょう。
  - 主治医が「救急車ですぐに病院へ」と判断したら、救急車を呼んでください。
  - 病院や主治医に連絡ができないくらい緊急な場合はすぐに119番通報してください。

### ホットでもない クールでもない ポカポカ暮らす 下呂スタイル魅力発信サイト POKAPOKA

下呂市での暮らしの魅力を発信するウェブサイト。下呂市へ移住を考えている人、子育て世代の女性に向けて、下呂に住んで感じる「暮らしの楽しさ」を女性の視点から発信しています。「しごと編」では、下呂市ならではの働き方にスポットを当て、仕事と生活を調和させ日々を楽しく過ごす魅力的な人々を紹介しています。

下呂 ポカポカ 検索 <http://gerostyle.jp>

SNS下呂市公式 Instagram での運動 #gerostagram

### 下呂市イクメンサポーター宣言

下呂市は、厚生労働省のイクメンプロジェクトに賛同し、2012年にイクメンサポーター宣言をしました。地域のみなさんと一緒に、社会全体で子育てがもっと楽しくそして豊かになる取り組みを推進していきます。

